

材料実習

建築物に非常に多く使用されている材料であるコンクリートの性質を学習します。この実習では、コンクリートをつくる時の水・セメントなどを混合する割合を計算する調合設計、コンクリートの流動性の程度を測定するスランプ試験、コンクリートの強度を測定する圧縮強度試験を行います。



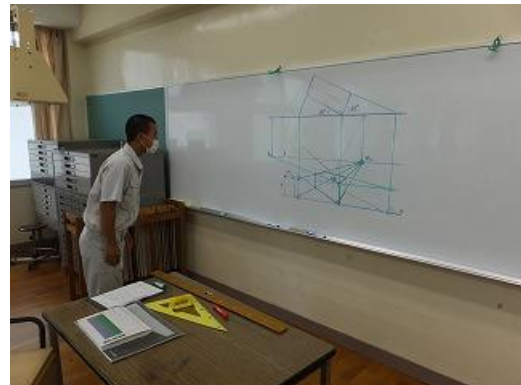
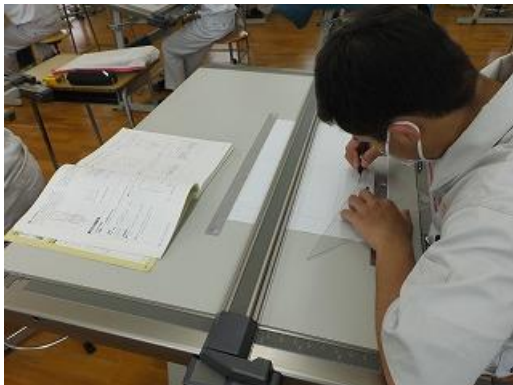
測量実習

工事を実施する上で基準となる点（基準点）・線（壁および柱の中心線など）を作業現場で機器・杭などを用いて設定する測量を工事測量といいます。この実習では、基準となる点・線の設定を行う作業である測設を行います。



パース実習

建築物を立体的に表現する投影法について学習し、完成予想図である建築パースに使用する透視図をかきます。この実習では、室内を表現する一点透視投影法・外観を表現する二点透視投影法による透視図のかき方や、透視図への陰影のつけ方などを学習します。



CAD実習

コンピュータによる設計をCADといいます。その中でも、製図用紙に鉛筆で図面をかく製図の作業をコンピュータに置き換えたものを二次元CADといいます。この実習では、鉄筋コンクリート構造の店舗付き事務所図面を課題にして、二次元CADソフトによる製図を学習します。

